

## 「2017年度夏版L2-Tech水準表(案案)」に対する御意見の概要と御意見に対する回答

資料7

※御意見の全体像が分かるように、代表的なものを抽出し整理しております。

※意見の概要に記載された内容は、基本的にいただいた御意見から抜粋(または、要約)したのですが、明らかな誤字や変換ミスについては修正しております。

#	L2-TechリストNo.	設備・機器等の名称	カテゴリ	御意見の概要	御意見に対する回答
1	L-000028	熱風ヒートポンプ (水熱源・一過/循環式)	原理しくみの妥当性	空気を熱源とする「熱風ヒートポンプ(空気熱源)」が導入されたことにより、水配管施工や水の供給といった制約から解放され、「熱風」分野でヒートポンプ技術を導入しやすい環境が整った。そのため「熱風ヒートポンプ(水空気熱源・一過/循環式)」に改めるべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
2	L-000048	LED照明器具	クラスの妥当性	照明器具では市場での用途に応じて、演色性(Ra)を求められることがあるが、lm値は演色性を犠牲にすることで高い数値を得ることができる。現行基準ではRaの規定がなくすべてのRaで共通の固有エネルギー消費効率(lm/W)を水準値としているため、演色性を考慮したクラス分類をすべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
3	L-000024	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	クラスの妥当性	複数のクラス(条件・能力)で同一製品が認証されているため、温度条件を細かく指定したクラス分けに意味がないと感じる。クラス条件を「温水出口温度」「熱源水出口温度」の2つとし、「入口温度」や「温度差」の設定を無くしてほしい。	クラスは購買の選択条件に基づいて設定しているため、同一製品が複数のクラスで認証される場合でも、見直しの必要はないと考えます。
4	L-000024	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	クラスの妥当性	加熱温度50程度程度のヒートポンプは複数のメーカーのラインナップに存在し、廃水処理や塗装工程などの産業分野や、暖房、給湯、余熱などの業務用にも広く用いられる温度帯であるため、「温水出口温度:50度」のクラスを追加すべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
5	L-000007	水冷ヒートポンプチャラー	クラスの妥当性	当社製品は「入口温度:0°C」「出口温度:-5°C」がメインであり、JIS及びJRAの規格ではブライン仕様の出入り口温度について明確な規定がないためブライン仕様の出入り口温度についてクラスを追加すべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
6	L-000035	温水器	クラスの妥当性	燃料がガスとLPGでは、低発熱量基準で効率試算結果に相違が出る。高位発熱量基準では、13Aガス焚きもLPG焚きも同じであることから、温水器の性能に左右されるものではなく、燃料由来によるものであるため、クラス(条件)をガス焚きとLPG焚きで分割すべき。 また、木質・竹チップと薪焚きの場合はカーボンニュートラルでありCO2の削減可能なため、クラスの追加または設備・機器	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
7	L-000008	空冷ヒートポンプチャラー	クラスの妥当性	ヒートポンプは一般に冷却運転だけではなく、加熱運転機能も備えている。また、「加熱能力」について、従来の上限55°Cの機種に対して、60°Cまで加熱可能な機種も市場投入されているため、クラス(能力)に「加熱能力」を追加すべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。

#	L2-TechリストNo.	設備・機器等の名称	カテゴリ	御意見の概要	御意見に対する回答
8	L-000008	空冷ヒートポンプチラー	クラスの妥当性	該当する製品が存在するため、冷却能力200kWのクラスを追加すべきである。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
9	L-000064	熱回収式ねじ容積形圧縮機	クラスの妥当性	給油式かオイルフリー式かは、圧縮空気の使用用途で決定する。そもそも給油式とオイルフリー式で性能比較が出来ないため、給油式とオイルフリー式を別々のカテゴリとすべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
10	L000042	燃料電池 コージェネレーション	クラスの妥当性	燃料電池は同一の発電出力であっても、燃料ガスの種類により発電効率・総合効率が異なるため、クラス(条件)ごとに、「燃料ガスの種類(純水素および都市ガス)」を設定すべき	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
11	L-000023	高温水ヒートポンプ (空気熱源・一過式)	クラスの妥当性	現実的に機器を選定する場合、加熱能力だけでなく用途や設置場所などの使用条件に合わせて決定される。貯湯槽を持たない高温水ヒートポンプは、大型であるため貯湯槽が別置となり、50kW超と50kW未満で区分可能なため、クラス(能力)を50kW未満と50kW超の2つに区分すべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
12	L-000015	一重二重併用形 吸収冷水機	計算方法・試験条件の妥当性	JIS規格の改訂により、廃熱寄与分による燃料削減を加味して、定格COPを表記可能となった。廃熱回収による燃料削減が多いほど、COPが向上する。本来、一重二重併用形は、廃熱回収による燃料削減を目的としているため、COP算出方法の変更すべき。併せて、吸収冷水機についても規格を変更すべき。	規格の改定前後で、測定単位となっているCOPの試験条件および計算方法に相違ないことが業界団体に確認できたため、準拠する規格を「JISB8622:2009」から「JISB8622:2009またはJISB8622:2016」に変更いたしました。なお、変更後のL2-Tech水準におきましては、販売中の製品のうち、「JISB8622:2009またはJISB8622:2016」に基づいて性能を公表している製品の中で最高性能を有している製品の性能といたしました。
13	L-000013 L-000015	吸収冷水機 / 一重二重併用形 吸収冷水機	性能測定単位の妥当性	節電型は、冷却水流量削減率を大きくすることで、CO2削減効果が最大となるため、L2-Techの節電型水準に、冷却水流量削減率を追加すべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
14	L-000048	LED照明器具	計算方法・試験条件の妥当性	lm値を電力で除する数値を水準とする以上、当該器具の最高電力で算出すべきだが、各社で算出する電力基準が統一されていないため、性能算出に使用する消費電力に出力条件を設けるべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検討いたしました。本御意見については、別途情報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2-Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査及び業界団体への確認等進めてまいります。本年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
15	L-000216	太陽電池 (シリコン系・単結晶)	計算方法・試験条件の妥当性	「セル実効変換効率」と「モジュール変換効率」の計算方法が、入れ替わっているため、修正すべき。	準拠すべき測定方法を確認し、修正致しました。

#	L2-TechリストNo.	設備・機器等の名称	カテゴリ	御意見の概要	御意見に対する回答
16	L-000027	高温水ヒートポンプ (水空気熱源・一過式)	計算方法・試験条件の 妥当性	当該装置は産業用途での使用が主となり、 JRA規格非該当であるため、標準条件による 評価とすべき。	試験条件・計算方法に設定する規格は、製品認証 において、準拠して頂きたい規格であり、当該設 備・機器等が規格の対象となっているかどうかは 考慮していません。また、決定にあたっては、 業界団体及び有識者委員会による協議、承認を経 て決定しております。
17	-	-	水準の妥当性	水準が「-」(ハイフン)となっている箇 所について、水準となり得る値があるので 設定すべき。	該当製品の性能、及び現在も販売されていること がカタログ等で確認できた場合に、L2-Tech水準 を設定しました。
18	L-000008	空冷ヒートポンプチラー	水準の妥当性	標準条件と冷房専用では、性能が同じと認 識している。COPの水準値が異なることに 違和感がある。	L2-Tech水準は現在販売中であることが確認でき る製品のうち、最高性能の製品の性能を採用して います。従いまして、理論上の性能と異なる場合 もごさいます。
19	-	技術分類 「冷凍冷蔵機器」	I/Eの拡充	モントリオール議定書では、HFC冷媒8 5%削減との規定があり、コンデンシング ユニット分野に於いても、冷媒の切替を進め るべきため、「自然冷媒CO2コンデン シングユニット」もL2-Tech水準表に拡充す べき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検 討いたしましたが、本御意見については、別途情 報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認 等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2- Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査 及び業界団体への確認等進めてまいります。本 年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲 載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情 報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
20	-	技術分類 「ボイラ」	I/Eの拡充	水素は燃焼時の生成物が水のみであること から、CO2排出はゼロであるため、「水素 ボイラ」をL2-Tech水準表に拡充して頂き たい。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検 討いたしましたが、本御意見については、別途情 報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認 等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2- Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査 及び業界団体への確認等進めてまいります。本 年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲 載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情 報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
21	-	技術分類 「熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方 式)」	I/Eの拡充	モントリオール議定書に整合させるため、 「低GWP冷媒のターボ冷凍機」をL2-Tech リストに拡充して頂きたい。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検 討いたしましたが、本御意見については、別途情 報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認 等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2- Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査 及び業界団体への確認等進めてまいります。本 年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲 載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情 報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
22	-	技術分類 「断熱材」	I/Eの拡充	産業・業務分野での省エネの取組みとして 真空断熱パネルの紹介がなされているた め、家庭区分の断熱材の設備・機器等に真 空断熱材があるのと同様に、産業区分にも 真空断熱材を拡充すべき。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検 討いたしましたが、本御意見については、別途情 報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認 等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2- Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査 及び業界団体への確認等進めてまいります。本 年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲 載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情 報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。
23	-	-	その他	アセット事業は家庭部門を対象とする予定 はないか。	2017年度夏版L2-Tech水準表への反映に向けて検 討いたしましたが、本御意見については、別途情 報の御提供のお願いや調査及び業界団体への確認 等が必要と判断いたしました。2017年度冬版L2- Tech水準表の更新に向けた検討事項として、調査 及び業界団体への確認等進めてまいります。本 年8月に実施する、L2-Techリスト及び水準表に掲 載されない設備・機器等の提案募集にて、必要情 報の御提供と併せ、御提案頂ければ幸いです。